

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第3区分

【発行日】平成19年4月19日(2007.4.19)

【公開番号】特開2006-258306(P2006-258306A)

【公開日】平成18年9月28日(2006.9.28)

【年通号数】公開・登録公報2006-038

【出願番号】特願2005-72369(P2005-72369)

【国際特許分類】

F 24 F 1/00 (2006.01)

【F I】

F 24 F 1/00 3 9 1 A

F 24 F 1/00 3 9 1 B

F 24 F 1/00 3 9 1 C

【手続補正書】

【提出日】平成19年3月5日(2007.3.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

送風機と、

前記送風機の周囲に配置され、互いに間隔をへだてて配置されたフィン群と、前記フィン群に接続されて内部を冷媒が流動する伝熱管群とを有する少なくとも3台の熱交換器とを備え、

前記各熱交換器が有しているそれぞれの前記伝熱管群の管径が熱交換器毎に略同じで、前記少なくとも3台の熱交換器は、

少なくとも2台の熱交換器からなる第1熱交換器グループと、

前記第1熱交換器グループの前記熱交換器における前記伝熱管群の管径より大きい管径を有する前記伝熱管群を含む熱交換器からなる第2熱交換器グループとにより構成される、空気調和機の室内機。

【請求項2】

暖房運転時には、前記第2熱交換器グループを構成する前記熱交換器から、前記第1熱交換器グループを構成する前記熱交換器へ冷媒を流動させることを特徴とする、請求項1に記載の空気調和機の室内機。

【請求項3】

冷房運転時には、前記第1熱交換器グループを構成する前記熱交換器の少なくとも1つに冷房時冷媒流入部を設けると共に、前記第2熱交換器グループを構成する前記熱交換器の少なくとも1つに冷房時冷媒流出部を設けたことを特徴とする、請求項1または2に記載の空気調和機の室内機。

【請求項4】

前記フィン群を前記伝熱管群が貫通し、前記伝熱管群が貫通する前記フィン群の主表面における前記伝熱管群の貫通位置は、ある方向に整列した1以上の列を構成するように配置され、

前記フィン群の主表面における前記列の延在方向に垂直な方向における幅を、前記列の数で割った値を前記伝熱管群の1列分のフィンの幅とし、

前記第1熱交換器グループにおける前記伝熱管群の1列分のフィンの幅が、前記第2熱

交換器グループにおける前記伝熱管群の1列分のフィンの幅より小さいことを特徴とする
、請求項1～3のいずれかに記載の空気調和機の室内機。

【請求項5】

前記第1熱交換器グループを構成する前記伝熱管群の管径を4mm以上6mm以下とし
、前記第2熱交換器グループを構成する前記伝熱管群の管径を7mm以上13mm以下と
することを特徴とする、請求項1～4のいずれかに記載の空気調和機の室内機。